

旧陸軍習志野学校跡地内における土壌及び地下水調査結果について

1. 経緯

- ・環境省では、平成15年12月の閣議決定を受け、千葉県習志野市及び船橋市内の旧陸軍習志野学校跡地内のA事案地域（習志野事案）の民有地について、平成16～17年度にかけて、必要な環境調査を実施したところであり、この調査実施時期に建物が存在していたことなどにより、調査が未実施となっている同地内の土地に係る調査については、その後、地権者による土地改変時といったタイミングを捉え、地権者からの要望を受け、逐次実施してきている。
- ・昨年10月、同跡地内の民有地において、地権者の要請に基づき実施していた環境（埋設物掘削確認）調査において、老朽化したあか筒らしきものが61個発見されたことから、同年10月23日に記者発表を行うとともに、10月26日に開催された本総合調査検討会において、報告を行った。また、念のため、発見場所周辺における地下水及び土壌の調査をおこなうこととした。

2. 地下水及び土壌調査結果及びその評価

①地下水分析結果

現場周辺は、水道が完備されているため、飲用等に供されている井戸は存在しなかったが、念のため、現場周辺に存在する井戸11箇所（発見場所から概ね半径300m程度の範囲内の存在が確認された井戸をすべて抽出）から地下水を採取し、それぞれ分析に供した。その結果は以下のとおりである。

○総ヒ素 … 不検出～0.003mg-As/L（地下水環境基準：0.01mg-As/L）

○あか剤に関連する有機ヒ素化合物* …すべて不検出

※DPAA（ジフェニルアルシン酸）、PAA（フェニルアルソン酸）、PMAA（フェニルメチルアルシン酸）、DPMAO（ジフェニルメチルアルシンオキシド）、PDMAO（フェニルジメチルアルシンオキシド）

② 土壌分析結果

老朽化したあか筒らしきものが発見された箇所を含む約 6m 四方の範囲内の 9 箇所から土壌を採取し、混合試料として分析に供した。その結果は以下のとおりである。

○ 総ヒ素

土壌溶出量試験：不検出

土壌含有量試験：1.5mg-As/kg-dry

(土壌汚染対策法に基づく指定区域の指定における含有量基準:150mg-As/kg-dry)

○ あか剤に関連する有機ヒ素化合物*

土壌溶出量試験：不検出

土壌含有量試験：不検出

※DPAA (ジフェニルアルシン酸)、PAA (フェニルアルソン酸)、PMAA (フェニルメチルアルシン酸)、DA (ジフェニルクロロアルシン)、DC (ジフェニルシアノアルシン)、BDPAO (ビス (ジフェニルアルシン) オキシド)

①、②の結果を踏まえれば、生活環境保全上の問題はないと判断される。